

❖登美ヶ丘北中学校区

めざす子ども像

気づく、学び、考える、子どもを地域と学校が共に育てる

▶登美ヶ丘北中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	教育環境に恵まれ、学力も高く生活面も特に問題がない地域である。地域からは、「お利口さん」で「センスが良い」との評判であるが、たくましさ欠缺る部分がある。私学への進学率が高く、個人的な考えが強い傾向があり、コミュニティが希薄な地域で、県外の出身者が大半を占めている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	協議会のテーマを学校と地域、そして子どもと共有していきたい。自分の視点でいろんな事に興味を持ち「気づく」、そこから「学ぶ」ことにつなげ、そして自分で「考える」を力を習得させたい。
取組内容	以前から行っている「とみきた塾」は学校の授業を補完し、学校の授業では出来ない内容で、将来の土曜日学習にもつなげていきます。「学力向上」については学校が授業に専念できる環境を作って行きたい。



▶登美ヶ丘北中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	校内事業への積極的参加を呼びかけ地域に於いても学校の取組が深まりだしたことも事実であり、生徒たちは地域の方に自分たちの取組を見てもらうことを楽しみにしている。 また、学校力向上・キャリア教育推進事業として地域の方を招いて開催している文化的・体育的行事には、特に力を入れており生徒たち自身の頑張りを地域に知ってもらう絶好の場として捉えている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	自分の取組でやるべきこと積極的に考え、行動し、自分の意見に責任をもっている人たちに伝えていく力。
取組内容	地域人材を積極的に活用し、地域の大人が学校の子どもにかかわる「コミュニケーション」「つながり」などを意識した学びの場を多く設ける。そのことで子どもが地域の思いを感じ取れるようにし、学校生活から将来に向けて生かせるようにしていきたい。



▶登美ヶ丘小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	校区近隣では「防犯パトロール隊」などを組織して活発に活動されているところもある一方、マンションや新しい住宅地などでは管理組合等はあるものの大きなまとまりとしての自治会がなく、活発な地域活動をされていないというところもある。分散進学となる校区なので地域全体として、なかなかまとまった活動ができていない。 しかし、子どもたちはどの子も明るく人懐っこい。そのためいろんな活動に活発に動いてくれる。また、学校活動にはPTAの多くの方やOBの方々が積極的に協力してくださっているので、今後、啓発活動や多くの支援のもと、さまざまな活動で充実発展していくと感じられる。
伸ばしたい子どもの具体的な力	地域で子どもを育てる 子どもで地域がつながる 「地域やなかまと共に育む登美っ子」 自分のやるべきことを見つけ行動し、自分の考えを持ち、思いやりのある心を持ちながら相手と協働できる力。
取組内容	各事業を進めていく中で、地域と学校と子どもが共にかかわり、「体験」「ふれあい」「楽しさ」「つながり」などを意識した学びの場と機会を設け、本校のよさや地域のよさ、そこに暮らしている人たちの思いを感じ取れるようにし、自分たちの日々の学校生活に生かせるようにしていきたい。



▶東登美ヶ丘小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	静かな住宅地に育ち、公園や恵まれた自然環境の中で、児童はのびのびと遊びや様々な活動に取り組んでいる。しかし、低学年から塾や習い事に通う児童が多く、高学年になるにつれて中学受験の準備等、時間に追われる忙しい日々を過ごしている児童も少なくない。そのため、知識量は多いが、その知識を活用していく力や、友だちと協働する力には物足りなさを感じる。また、学習面や体力面においても2極化が課題となっている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	人と人との触れ合いの中で、友だちとのコミュニケーション力や協働する力をしっかり身につけさせたい。また、知識だけでは得られない様々な体験の素晴らしさを味わうことにより、新たな体験に取り組む意欲を持たせ、学習面や体力面の2極化の解消も図っていきたい。
取組内容	地域の教育力を生かして、「体験活動」や「読書活動」を中心に据えた学習計画の充実を図る。また、恵まれた自然環境を生かし、子どもたちが安心・安全に生活できるように「環境整備活動」に取り組むとともに、体力向上につながる学習の場を数多く設定していきたい。



▶登美ヶ丘幼稚園 運営委員会

学校園・子どもの現状	明るく素直な幼児が多いが、少子化や核家族化が進む中、同年代の子どもと遊ぶ経験があまりない幼児が多く身の回りのことを自分で行う力や人と関わる力を身に付けていく必要がある。地域との関わりも少ない家庭が多く、園の園児数も減少しつつある。園では、地域の方との温かいふれあいを通して充実した遊びや多様な経験を積み重ねていく必要がある。
伸ばしたい子どもの具体的な力	○基本的な生活習慣を身に付け、自分の力で生活しようとする意欲。 ○社会生活に必要なルールやマナーを知り、守ろうとする態度。 ○友達や先生、地域の方との信頼関係の中で、自分の気持ちを調整したり、相手の思いに気付いたりしながら、人との関わる楽しさを感じる力。 ○いろいろなものに積極的に関わり、感動する力。
取組内容	・知的好奇心を育む（自然とのふれあい・栽培活動・感動体験） ・自分で選ぶ・考える（五感で感じる・思考錯誤を重ねる・見通しを持つ） ・体力づくり・やる気づくり（生活習慣の確立・体を動かす・食への関心） ・自信と自尊心を育む（信頼関係・成功体験・少し難しいことに挑戦する経験） ・共感できる仲間と共に（自分の思いを伝え相手の思いを受け入れる）



▶東登美ヶ丘こども園 運営委員会

学校園・子どもの現状	本園の子どもたちは、住宅と自然に囲まれた環境にあるが、人と自然環境にふれる機会が少なく、感動する体験が乏しいように思われる。保護者は、子どもに対する関心度は高いが核家族や少子化が進む中、様々な人・ものとふれあう機会が少ないため、コミュニケーション力が弱いように感じられる。また、奈良の文化財もなく触れる機会も少ない。
伸ばしたい子どもの具体的な力	様々な「人・もの・こと」との出会いを経験し体験する中で新しいものに気づき、試したり、工夫したりしながらやりたいことに向けて粘り強く取り組もうとする力を育てる。
取組内容	地域の教育力を活かして、心揺さぶる感動体験を計画的に創り、取り組みを充実させる。また、「楽しさ」や「つながり」などを感じられるようなふれあいがいっぱいある楽しいこども園にしていきたい。

